

週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

第 19 回全国青年女性漁業者交流大会
赤須賀漁協青壮年部研究会
農林水産大臣賞 受賞!
— 3 月 4 日・5 日 東京・半蔵門 —



【 2 日目・農林水産大臣賞作品発表の様子】



【農林水産大臣賞を受賞する秋田健一さん】

3 月 4 日 (火)、5 日 (水) に東京・グラ
ンドアーク半蔵門にて、「第 19 回全国青

年女性漁業者交流大会」が開催された。

この大会は、全国の青年・女性漁業者
らによる日頃の研究・実践活動の成果の
発表、参加者間の交流により知識や情報
を共有・進化させ、水産業・漁村の発展
と活性化を目的として全漁連が主催す
るもので、今年で 19 回目を迎えた。

この日、全国から 38 の漁協青壮年部、
漁協女性部などが一堂に会し、三重県か
らは赤須賀漁協青壮年部研究会、大紀町
錦の魚々錦会が出席、それぞれの活動・
研究成果の発表を行った。

その結果、赤須賀漁協青壮年部研究会
秋田健一さん発表の「絶やさない！ 漁業
を繋ぐ赤須賀の心意気～ハマグリの復
活による地域の活性化～」が、先人の資
源復活にかかる努力、思いを受け継ぎ、
その思いを次世代へ継承していく気運
の高さ、地域活性化に資する諸般の活動
を通じ、地域に好循環を生み出してい
ることなどが評価され、多面的機能・環
境保全部門において農林水産大臣賞を受
賞した。

他の大臣賞受賞者は、下記のとおり。

資源管理・資源増殖部門	東安房漁協営漁計画実行委員会連絡協議会 (千葉)	未来へ受け継ぐ海女の志 ～輪採方式によるアワビ漁業 30 年の取り組み～
漁業経営改善部門	宝勢丸鯉漁業生産組合 (鹿児島)	ブルーーツーリズムで“シマ”の魚を売り込め ～キハダ蓄養で市場縮小に挑む～
流通・消費拡大部門	山口県漁協田布施支店「新鮮田布施」(山口)	未利用魚加工で魚価低迷に倍返し！！
地域活性化部門	室津漁協女性部 (兵庫)	浜のかあちゃんの挑戦 ～室津の魚を食卓へ！～

**ふるさとの食・にっぽんの食
全国フェスティバル開催！
— 3 月 8 日・9 日 東京・代々木公園 —**



【焼き牡蠣の販売】



【幻の伊勢あさくさ海苔も出品】

3 月 8 日（土）、9 日（日）に東京・NHK 放送センターと代々木公園にて、「ふるさとの食 にっぽんの食全国フェスティバル」が開催され、会場には 2 日間でのべ約 4 万 8 千人が訪れた。

本フェスティバルは、日本の食文化の伝承、地産地消、食育をテーマに、全国各地の J A, J F 等が参加し、ふるさとの食のすばらしさを広く紹介することを目的として平成 13 年から始まったもの。

全国の食材を販売する「どーもくん市場」で、本県からは焼き牡蠣、青さのり、佃煮、あおさのチーズケーキのほか、今年度、桑名で養殖に成功したアサクサ品

種の焼海苔などが販売された。

焼牡蠣の前には長蛇の列ができ、青さのりや佃煮は、毎年のリピーターも多く、三重の食材が定着しつつある手応えを感じられる 2 日間となった。

**「なださば」神宮献納
— 3 月 8 日 伊勢神宮内宮 —**

三重外湾漁協は、3 月 8 日に、熊野灘沿岸で水揚げされたゴマサバ「なださば」20kg を、豊漁と操業安全を祈願し、伊勢市の伊勢神宮内宮に献納した。

三重外湾漁協の位置する熊野灘沿岸では、古くから巻き網、定置漁業が営まれ、ゴマサバの水揚げ量が盛んに行われていることから、3 月 8 日を「さばの日」と定め、新たに「なださば」をブランドサバとして P R を行っていくとのこと。



【主な予定】

◎3/14

青さのり 5 回汐共販（松阪市）

◎3/15

第 17 回三重漁民の森造成事業（津市）

◎3/17

桑名地区密漁防止連絡会議（桑名市）

八共密漁対策協議会（松阪市）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。